

平成29年度 体育

教科(科目)	体育(体育)	学科(コース)・学年	全学科・2年生
使用教科書	現代保健体育(大修館書店)		
副教材等	現代保健ノート(大修館書店)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

1年次で習得した各運動種目の基礎技術・基本動作をさらに充実させ、自ら種目を選択することにより、自主的に学習を進めていく。仲間と協力しあい目標を決めてそれらの目標を達成していく態度を養う。

2. 指導の重点

各運動種目において運動の技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことのできるようになる。また体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1学期	○集団行動	○集団行動を身につけ、機敏、的確、安全に行動できるようにする。	○姿勢、整列、礼法の指導を、正しくできるか。
1学期	○体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 ・体ほぐし運動、 ・新工体操	○体ほぐしの運動を行う。「新工体操」を復習し、ウォーミングアップとして活用できるようにする。	○2年次には1年次で覚えた「新工体操」を正しい順序で正確な動作で行えるか確認を行う。
1学期 2学期 3学期	イ 体力を高める運動 ・筋力トレーニング	・腹筋・背筋・腕立て・脚力系トレーニングを行う。 ・ウェイトルームを利用し、器具を使ったトレーニングを行う	○自主的に積極的に取り組んでいるか。
1学期	○体力テスト 文部科省指定体力テストの実施	○生徒の体力を把握と、今後の体力づくりに生かす。	○3年間継続して測定し体力の変化を確認する。
1学期 2学期	○陸上競技 ・競走(長距離走)	○長距離走として、校舎外周やグラウンドを利用して長距離走を行い、計測をする。	○授業態度・成果・計測記録で評価する。
1学期 2学期	○球技<ゴール型> ラグビー	ハンドリングとランニングを駆使して、どのようにボールをつなぐことが効果的に相手陣地に運ぶことができるかを実践し、理解する。	○キック、キャッチング、ハンドリングゲーム、簡易スクラム、モールを行う。オフサイドを理解しホールドタックルによるミニゲームを行う。
1学期 2学期	○球技<ベースボール型> ソフトボール	○チームとしてのまとまりがあり、組織だった動きで打撃・守備ができるようになる。 ○関係プレーを生かし、素早い判	○攻撃の戦術 ・コース打ち ・ヒットエンドラン ○守備の戦術

1 学期 3 学期	○球技〈ネット型〉 バレーボール	断と積極的なプレーができるようになる。 ○サーブやアタックを取り入れ、3 段攻撃をおりませたゲームできるようにする。 ○健康や安全に留意して練習やゲームができる。	・ベースカバー ・ダブルプレー ○バレーボールに対する意欲・関心・態度 ・出席状況 ・直上トス、アタックサーブ、レシーブ
2 学期 3 学期	○球技〈ゴール型〉 バスケットボール	○パス&ランやスクリーンプレーの基本的な動きを身につけ状況に応じたシュートができるようにする。 ○協力して攻撃、防御を行い正規のルールに従いゲームができるようにする。	○基本プレーを練習する ・パス&ラン ・スクリーンプレー ・2 対 1、2 対 2 ・3 対 2、3 対 3 正規ルールでの 5 対 5
2 学期	○球技〈ネット型〉 バドミントン	○バドミントンの基本技能を理解し、体験しながら身につける。 ○身に付けた基本技能を実際のゲームで使えることを目指す。	○基本的なストロークの仕方を学ぶ。 ○ラケットワークと各種フライトを用いて簡易ゲームを行う。 ・簡易ゲーム
2 学期	○球技〈ゴール型〉 フットサル	○ボールを足で蹴る、止める、運ぶ、という技術を高めつつ、チームで協力しゴールを守り、奪うことを楽しむことを目指す。 ○シュートの技術の向上を目指す。 ○個人やグループでの突破や守備の仕方について学ぶ。	○リフティングや対人パス、3 対 1 などで上手に蹴る、止める技術を向上。 ○1 対 1、2 対 2 の対人プレーで、突破の方法や守備の基本理論を学ぶ。 ・ゲーム（ミニ、フルコート）
1 学期 2 学期 3 学期	○体育理論	○運動・スポーツについて、その効果的な学び方について学ぶ。	○プリント、学習ノートを用いて調べ学習をする。 ○学年末総合テスト

4. 評価規準と評価方法

【体育】95%

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
○各運動種目の技術練習を通して積極的に課題を見つけ意欲的に取り組んでいる。 ○ルールや約束事を厳守し、チームにおいて協力しながら学習を進めている。	○自分の課題を明らかにし、具体的な解決方法を見いだすことができる。	○ゲームに必要な集団的スキル・個人スキルを活用し学習状況に応じた授業が展開できる。	○各運動種目のルールを理解している。 ○学習した技術をゲームで生かそうとしている。

具体的な評価の対象

- ・ 技能テストなどの評価（60%）
- ・ 授業態度（20%）
- ・ 出席状況（20%）

【体育理論】5%

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	・ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計について、比較したり、分類したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。	・ 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。

具体的な評価の対象

- ・ 学年総合テスト（60%）
- ・ 授業態度及び出席状況（40%）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

用具の準備、片付け等は、みんなで協力して行う。授業では、担当の先生の指示を守り、怪我に十分注意して授業を受ける。